

伯和兩時報

發行所 伯刺西爾時報社
電話 七・四六七〇

社長 黑石 清 作
Director M. Sameshima

購讀料 一ケ年 六十軒
半ケ年 三十軒

廣告は御照會次第御返信

戰時通商協定空文と化し

英ソ國交今や危機に臨む

英商相、重大事實發表

【倫敦十三日路透電】ダンカン首相は十三日の下院で、英蘇戦時通商協約に關する質問に對し、昨年十月締結の英蘇戦時通商協約で規定したソ聯木材と、英國のゴム、錫、鉛、タール交換は行はれてゐないといふ正式發表を行つた。同時に英蘇戦時通商協定は昨年十月十一日ロンドンに於いて正式調印されたが、一時は更に廣汎な通商協定にまで發展するのでは無いかと豫想され、獨逸提携・關聯して、頗るその政治的意義が重視されてゐたが、今回のダンカン首相の正式宣明によつて、實情が明かになつたと共に、英蘇關係が、現在只ならぬ危機にあることが暴露されたわけで、注目されてゐる。

日本愈よ對米依存脱却

蘭印資源の

開発に
觸手せん

蘭方國は、日本が對
外政策を一變し、
通商貿易關係に
於ける對米依存
性を脱却、蘭印の
資源開發への端
緒を握まんとす

て打った第一石
なりとの見解を
懷き、成行きに往目を聚
めてゐるが、有願黨は通告に對
して、オランダ政府は十二日に左
の語き「オランダ政府は南西に點
の新嘉坡と蘭印に關する同蘭政府
の希望を明かにし

オランダ政府「オランダ政府は南西に點の新嘉坡と蘭印に關する同蘭政府の希望を明かにし」

日本の戰艦が蘭領及び從屬
地に停泊せしめ維持し
れるが原因の中止に伴ひ、
裁判所に或る職能を
へたる一九三四年の條約
規定に準じて適用し得る
到れり。併つて日本政府

● 蘭新條約締結希望
● 仲裁判決條約廢棄

和蘭新條約締結希望

フィンランドと
支那へ

北米の軍資金融通案

論爭の結果上院通過

米海軍豫算

○意二百萬弗削減

ソ聯の要求斷れ

ルチツク諸國の決意

[illegible]

米海軍豫算

一億二百萬弗削減

求國れ

ツク諸國の決意

【華府十三日同盟は】米蔵下院議員の演説は、十三日ルズベルト大統領が要請した津貼削減、一億二百万兩附銀、九億六千六百七十七萬二千兩に懸け可決した、右海軍費削減案も可決した。

東京「東洋新報」四日附紙

弗
一海軍艦艇整備費九千九百九十九萬圓
一燃料、並に城壁修繕費三億三千七百九十一萬圓

にその輸出が輸入に比し前年

中華民國 五二
三四三〇二七、

龜出 濠洲國 昭和十四年 八一七六七八

未解決懸案二

松本氏(民衆)の質問に外相の答辯

【東京十四日同盟日本】有田外相は去る七日の豫算總覽席上、松本忠雄氏より行はれた日米兩國關涉懸案問答へ、近く適當の機會に於て發表する旨を言明したが、十四日豫算總覽劈頭左の如き説明をなした。

持つて來るものも少くないので、從つて現地で可なる用度

四十九件になつた

が米國と日
の間に行は

五八噸

であるが、米國の方で必らずしも現地解決の必要が、戰の性質或るの他から中央に對してあるのか、さういふ風なことは全部中央には解つてはゐないのである、或る者に解つてゐるのである

前につては、最前の上の所に於ける確にことに努力してゐるのを、それによつて攻方法も考慮など、拂つた注意を拂つたのである

に於て探上げられて
題に、大體限られて

である、今回の事態
来、一月末日までに

のには英國船一艘、一ノ
八七五トン）であつた
大阪十四日附留書
本大觀二八五、七
二〇、六七〇、ナシ
八五、七二一、六七三
安値三九、七一九

方から外務省に宛て文書で
申入れて來た。經案中に現在
已が解決せざる間ものは
二百數十件に上つて
ゐるのである、その内譯
を述べると、第一は被害の
問題である。中、先づ襲
はれたる船は、

尾崎の責任は
にも拘らず、天候候
行爲の缺くべからざら
として、或は天候變
不認、或は第三
の所在の有無に關し
の責任に及ばないとい
ふ、この事關
は決つてない、

による損失は百

七六五、縮布前引け
五、四〇六五、四一四

民間の

四四四
四五三
五

文官

増進
入状況
調査書提出
九五三、昭和十三年
五〇七

「東京十四日新聞」に「栗田
實田大藏省理財局長
職銀券發行の影をを防ぐ
ことに努力してゐる」と
ある。職銀券の償還維持た
め、物資を持ち出すことは
に抑へず、或る程
縮は困難ではないが、職
銀に對しては日本内
文に對しては日本内
資計對資金計と視
點主義で對策を講

松村氏の質問に首相答へ

昭和十四年、五〇八
五 昭和十三年 四一
三九、以下二の頁

現在我が國の資本が
額に北支に流出して
とから見て、或る

を得ない、將來の方

民國 五二三八四、
三〇二七、二〇二四
一七八七、三
松村 謙齋 題詞 作 相 敬 的
である

あべれ大名 あべれ だいめい

 久我 庄多
 金 庫 勇 剛

「お船歌」(三十三)
(二ノ二)
周は、かなしげな羽ばたきするのみだ
なげ——なげお前、ものいえないのだらう」
無理なことではあるが、そ

「グレニントさま。
がございます」
「なに、どんな？」
「ま、萬太郎さん、と？」
グレニントと鐵枝



美術石版印刷

鹽谷 實

東京市白金ケ丘一丁目
二〇六番
電話三三〇三

山田齒科療院

東京市白金ケ丘一丁目
二〇六番
電話三三〇三

（中央米利カド 際）
オブラト街八九

寫眞機補板フルバムオラス類フチ其ノ他

◆見習生入用

募 集

綠棉工場に働く
事務員を求む

いととほん
寫眞館
主 江口桂秀

補經 分讓
江口養魚場
主 松田 保

イースト
オラセヒワタキ街

圖紙寄附持者の届出に關する件

客年來我邦に於ては一旦海外に流出した圖紙等の輸入に對し續取上取辦を設くることとなつた處は周知の通りであるが一方當國在留民中右取締りの責を盡しに於てあるが目的を以て圖紙等を賣渡めて因た者も少くないに對する此等の者は故國新聞圖形等の發售場々困難を呈することとなり事情觀察すべきものがある。依つて今帝國政府では此等採用方法中との趣なるに付しに偏ふ圖紙寄附方にき便法を用ひて究中の趣なるに付しに偏ふ圖紙寄附持者の所持者は本人又は代理人に於て本年二月末迄に右職務持參所附屬事項に出頭し保官の指導を受けらるる形式に従ひ紙幣八手に關する事項を詳細申告せらるるに候し度し

昭和十五年一月二十二日

在サンパウロ帝國總領事館
在リベロンブレト帝國總領事館分館
在リオデジャネイロ帝國領事館
在パウルト帝國領事館
在サントス帝國領事館
在ベレーン帝國領事館